

授業科目名	韓国語		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (コミュニケーション科目)	
担当教員名	李 賢雄					補助担当者名			
単位数	2 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数		40名程度	
授業の概要	本授業では、韓国語を基礎からきちんと学びたいと思ってる方、韓国人との簡単な日常会話を楽しみたい方、韓国の文化の理解を深めたい方を対象に授業を行い、韓国語に自信を持つようになり、一層、韓国語の勉強に踏み込む原動力となることを期待される。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法						
			授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	この科目を学ぶことにより、ハングルの読み書きができるようになる。	○		○				40
	■情意 的領域	韓国の文化に触れることにより、韓国と日本の文化の共通点や差異について理解を深めることができるようになる。	○			○			10
■技能 的領域	韓国語の基礎文法や表現を学ぶことにより、簡単な日常会話ができるようになる。		○			○		50	
成績評価の基準	・成績認定の必要条件是、2／3以上の出席率（出席回数10回以上） ・授業期間で行った小テスト・レポート・定期試験の各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。								
テキスト、教材 参 考 書	「これで話せる韓国語STEPⅠ」、入佐信宏・金孝珍 著、白帝社出版、2015、@2,300円（税別）								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)		テキストに沿って授業を行うので、必ずテキストを準備し、予習をしておくこと。				
オフィス・アワー									
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	李 賢雄	ハングル字の学習（母音→21種類）				テキスト、p2～p5、予習			
2	〃	ハングル字の学習（子音→19種類）				テキスト、p6～p12、予習			
3	〃	ハングル字の学習（パッチム→16種類）				テキスト、p14～p16、予習			
4	〃	日本語のハングル表記及びパソコンのハングル入力方法				テキスト、p13、予習			
5	〃	第1課 私はイ・ユジンです。				テキスト、p18～p20、予習			
6	〃	挨拶・自己紹介をする。（～は～です／～ですか）				テキスト、p21～p23、予習			
7	〃	第2課 これプレゼントです。				テキスト、p24～p27、予習			
8	〃	物の名称について表現する。（指示詞など）				テキスト、p28～p30、予習			
9	〃	第3課 どこの出身ですか。				テキスト、p32～p34、予習			
10	〃	出身地について尋ねる。（疑問詞など）				テキスト、p35～p37、予習			
11	〃	第4課 この人は誰ですか。				テキスト、p38～p40、予習			
12	〃	家族を紹介する・名前を尋ねる。（家族の呼び名）				テキスト、p41～p43、予習			
13	〃	第5課 ソウルに韓国人の友達がいるんです。				テキスト、p44～p46、予習			
14	〃	存在の有無を表現する。（～あります・～います／～ありません・～いません）				テキスト、p47～p49、予習			
15	〃	第6課 私は図書館にいます。				テキスト、p50～p55、予習			
16	〃	学期末試験							